

庁 議 録

招集年月日	令和2年4月1日（水）							
開会時刻	午前10時00分	閉会時刻	午前10時45分					
開催場所	庁議室							
出席の状況（○出席者、代は代理出席）								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	地域振興対策政策監	○	6	市長直轄理事	○
7	財務部長	○	8	市民生活部長	○	9	健康福祉部長	○
10	会計管理者	○	11	教育部長	○	12	こども部長	○
13	産業部長	○	14	建設部長	○	15	上下水道部長	○
16	議会事務局長	○						
代理出席者								
職務のため出席した者	伊達総合支所長、梁川総合支所長、保原総合支所長、霊山総合支所長、月舘総合支所長、健康対策担当参事、都市整備担当参事、農業委員会事務局長、行政委員会事務局長、人事課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、総務課長							
案件説明のため出席した者								
付 議 事 案 協 議 事 項	<p>1. 開会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 新任部長あいさつ</p> <p>4. 議題</p> <p>(1) 令和2年度予算執行方針について 【財務部】</p> <p>5. 報告</p> <p>(1) 政策調整会議及び政策調整幹事会開催方針について 【市長直轄】</p> <p>6. その他</p> <p>(1) 特別職主要業務予定について（4月上半期）</p> <p>(2) その他</p> <p>7. 閉会</p>							

会議の経過・結果

1. 開会

2. 市長あいさつ

令和2年度が始まった。市政をしっかりと牽引していきたいと思う。年度が変わり新たな体制となったが、今までの重要施策をしっかりと引き継いでいきながら、新しい施策の推進を意識していきたいと思っている。

本日、新規採用職員20名の辞令交付を行った。新職員をしっかりと見守りながら育ててほしい。

市の課題については、やはり人口減少、少子高齢化をこれからどう克服していくかである。伊達市の特徴は、20代の若者の転出が多いということ。進学や就職を機に、県外や首都圏に転出しているが、その後転入してくる人が少なく、戻って来られるような環境が十分でないことが原因と考えられる。これからは、いかに働く場を確保するかが重要な課題である。

もう一つの特徴として、0歳から14歳未満の人口が2015年から2018年までの4年間で増加しているということ。子育て支援や教育の充実、自然豊かな環境で子育てをしたいという家族の転入により増加していると考えられる。良い部分はしっかりと伸ばしながら、減少をいかに防いでいくかが重要である。また、地域によって人口が減少しているところ、また増加しているところがあり、格差が大きくなっていることを感じる。働く場所の確保、企業誘致、既存の企業のPR等をしっかりと行っていくことで、人口確保を進めていくことが大事である。

市の基幹産業である農業については、耕作放棄地の減少、新規就農者の増加などが地域の発展に必要なことである。職員全員で意識を共有しながらしっかり事業を進めていきたい。

伊達市の魅力は、美しい景観や自然である。「美しいふるさと伊達市」のイメージを持ちながら、都市部にはない特徴を出していきたいと思っている。「ふるさと」という歌があるが、その歌のイメージが伊達市に合っていると感じる。伊達市は美しい地域だということをこれからのまちづくりに活かしていきたい。

職員には、公務員の自覚をしっかりと持って欲しい。職員は、市民の生活を預かる仕事をしている。最近不適切な事務処理、不適切な対応が見受けられるが、仕事は条例や法令、規則を遵守しなければならないことをもう一度各職場で確認して欲しい。職員と共に、令和2年度も頑張っていきたいと思う。

3. 新任部長あいさつ

4. 議題

(1) 令和2年度予算執行方針について

財務部長が資料に基づき、説明した。

5. 報告

(1) 政策調整会議及び政策調整幹事会開催方針について

市長直轄理事が資料に基づき、説明した。

6. その他

(1) 特別職主要業務予定について（4月上半期）

(2) その他

・産業部長より、緑の募金について協力依頼があった。

【副市長より】

議会对応については、事前説明、情報共有など、事前の調整をしっかりと行うこと。

リスク管理については、体制が変わった4月は一番リスク事案が多く起きる時期なので、部長・課長はとくに注意し、部課内への声かけを行うこと。

事業の進捗管理については、スケジュール管理を細かく行うこと。

7. 閉会